

二戸市総合法令管理システム維持管理業務
に係るプロポーザル審査結果

令和7年12月17日

二戸市総合法令管理システム維持管理業務委託

プロポーザル審査委員会

二戸市総合法令管理システム維持管理業務委託

プロポーザル審査会

審査講評

委員長 泉 山 茂利樹
立 花 幸 博
三 浦 豊
長谷川 勝
藤 原 悠 治

1 審査の経過

二戸市総合法令管理システム維持管理業務を受託する事業者を公募型プロポーザル方式により選定するにあたり、その手続きを厳正かつ公平に行い、応募者からの提案項目を客観的に評価するため、3回の審査会を開催し審査を行った。

(1) 第1回審査委員会（令和7年11月7日開催）

事務局から審査委員会設置要綱、審査会委員の構成について報告を受け、委員長の選任を行った。

引き続き、プロポーザル実施要領（案）、仕様書（案）、評価基準（案）の審議を行い、委員全員が了承した。

(2) 第2回審査会（持ち回り：令和7年12月2日）

参加意向申出書を提出した2者について、持ち回りによりプロポーザル参加資格審査を行い、参加資格を有することを確認（了承）した。

(3) 第3回審査会（令和7年12月17日開催）

参加事業者から審査委員に対するプレゼンテーションを開催、提案内容の審査を実施した。プレゼンテーション終了後、各審査委員が審査基準に基づき評価を行い、その集計結果により受託候補者を決定した。

2 審査結果

プレゼンテーションにおける採点を、提案書の評価項目毎に、合計最高点 1,000 点及び基準点 600 点（60％）を定めて採点をし、集計した結果、総得点の上位者について受託候補者として決定した。

受託候補者：株式会社ぎょうせい東北支社

（審査委員の評価点数 815 点と約 82％の評価）

次点候補者：第一法規株式会社

（審査委員の評価点数 802 点と約 80％の評価）

3 講評

- ・両業者ともそれぞれの特徴を生かした良い提案がされていた。
- ・職員の法制執務能力のレベルを考えたとき、わかりやすさを重視するとともに、職員へのサポート対応も含めて評価した。
- ・職員の法制執務能力向上が当市の課題であることを改めて感じた。研修を確実に実施しスキルアップとシステムを活用した業務の効率化に努めてほしい。
- ・例規編集の使いやすさ、例規のデータ蓄積の優位性など各提案者の強みがある一方で、やや足りないと感じる仕様などもあり一長一短で評価が難しかった。